

会員の皆様へ

一般社団法人日本学校歯科医会 会長 川本 強

日本学校歯科医会会員の先生方には常日頃より児童生徒の学校歯科保健活動に対しまして、多大なご尽力を賜っておりますことに、また本会に大きなお力添えをいただいておりますことに心よりお礼申し上げます。

今年一月に誰しもが予想しなかった新型コロナウイルス感染症発生に日本中が恐怖の増埒（るつぼ）と化し、直接的に被害に遭われた先生方はもとより、間接的にも被害に遭われました先生方に衷心よりお見舞い申し上げます。残念なことに多くの国民がその犠牲となり、直接感染を免れた人々も二次被害とでも言うべき経済的被害を受け、苦しんでおられることは周知のことです。

日本学校歯科医会といたしましては、未曾有のパンデミックの中で、今現在児童生徒がどのように家庭で、また学校で過ごしていくことが最善なのか、叡知を出し合い広報を通して発信しているところであります。

国家としても可能な限りの予防対策そして治療対策を、また経済対策を講じていることは言うまでもありません。

私たちはこのような災害には姿・形こそ違え幾度となく襲われてまいりました。身近な記憶としていまだ残るのは東日本大震災です。多くの同胞が亡くなりました。また古くは病原不明の疫病で多くの子供たちや国民を亡くしております。このような国難に直面した時、己の身を捨て、他人に献身的に尽くす勇氣ある人たちがおられます。東日本大震災の時にも、己の身を捨て他人の命を救った人々が多くおられました。私は、日本国民は未曾有の困難に直面した際、人が人としての優しさ、思いやりそして互助の精神を持ち合わせている国民と思っております。

今、日本全国民が窮地に立っている時にも子供たちは学ぶでしょう。学校歯科医、教職員そして保護者は過去の偉大な事象から児童生徒に多くのことを教えることができますが、一方、弱々しいことや惨めなことそして哀しいことから子供たちは自ら学ぶことができるのです。国難と言える現在、児童生徒は健康の大切さを自分の目で見て、耳で聞き、肌で感じ取ってくれているでしょう。

私たち日本学校歯科医会は児童生徒が自分の健康は自分で守る、と自覚してくれた時、いつでも提供できる学校歯科保健教材を持ち合わせていたいと思っております。「予防に勝るもの無し」を伝えてまいりたいと考えております。古くに言われたことではありますが、「予防の1オンスは治療の1ポンドに勝る」精神を常に発信してまいりたいと思っております。

日本学校歯科医会会員の先生方、このような非常事態にこそ、より一層の児童生徒へのお力添えを賜りますようお願い申し上げます。